

函館署 令和6年建設業労働災害発生状況

(令和6年確定値)

業種	令和6年		令和5年		対前年比較	
	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	増減数(人)	増減率(%)
建設業	4	71	0	88	-17	-19.3
土木工事業	1	28	0	35	-7	-20.0
建築工事業	2	33	0	32	+1	+3.1
木造建築業	0	7	0	9	-2	-22.2
その他	1	3	0	12	-9	-75.0

函館署 令和7年建設業労働災害発生状況

(4月末現在)

業種	令和7年		令和6年		対前年比較	
	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	増減数(人)	増減率(%)
建設業	0	17	1	16	+1	+6.3
土木工事業	0	10	1	9	+1	+11.1
建築工事業	0	1	0	5	-4	-80.0
木造建築業	0	4	0	1	+3	+300.0
その他	0	2	0	1	+1	+100.0

令和6年 死亡労働災害発生状況（建設業）

函館労働基準監督署

発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害発生概況	
1	3	8時台	建設業	10名未満	飛来・落下	金属材料	被災者は、トレーラーの荷台に2段積みされていた場所打ち杭用の鉄筋かごの荷下ろし作業のため、鉄筋かごを固定していたワイヤーのチェーンブロックを緩めていたところ、荷崩れした鉄筋かごの下敷きになり、死亡した。
2	5	10時台	建設業	10名未満	感電	送配電線等	被災者は、低圧配電線取替作業のため電柱に上ったところ、高圧配電線に触れ、感電し、死亡した。
3	8	15時台	建設業	10名未満	激突され	移動式クレーン	被災者は、型枠資材の積卸しのため、車両積載型トラッククレーンの荷台の上で、角鋼管の束に玉掛け後、荷に背を向け、電話対応していたところ、移動式クレーンの操作者がリモコンで巻き上げ操作を行い、地切りした荷が動き被災者に激突、被災者は荷台から墜落し、死亡したものの。
4	11	10時台	建設業	10名未満	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	被災者はプレヒータ設備のサイクロン亀裂補修作業において、サイクロン脇の作業床上でサビの研磨作業を開始、約30分経過したところで作業場所に倒れている被災者を発見、救急車で病院に搬送したが死亡したものの。